

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名:消費動向調査(2012年6月)

発表日2012年7月10日(火)

～消費者マインドは一進一退の推移～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 星野 卓也
TEL : 03-5221-4526

消費者態度指数 (全国・一般世帯)			消費者意識指標							
	前月差		暮らし向き		収入の増え方		雇用環境		耐久消費財の買い時判断	
				前月差		前月差		前月差		前月差
11年1月	41.5	0.2	43.1	0.6	41.4	0.0	39.7	0.7	41.9	▲ 0.3
2月	41.2	▲ 0.3	42.1	▲ 1.0	41.0	▲ 0.4	39.3	▲ 0.4	42.3	0.4
3月	38.9	▲ 2.3	38.8	▲ 3.3	39.7	▲ 1.3	38.2	▲ 1.1	38.7	▲ 3.6
4月	33.4	▲ 5.5	35.0	▲ 3.8	37.0	▲ 2.7	28.2	▲ 10.0	33.2	▲ 5.5
5月	34.4	1.0	36.4	1.4	37.4	0.4	28.1	▲ 0.1	35.8	2.6
6月	35.5	1.1	37.5	1.1	37.6	0.2	29.7	1.6	37.3	1.5
7月	36.8	1.3	38.7	1.2	38.0	0.4	31.2	1.5	39.3	2.0
8月	37.0	0.2	38.8	0.1	38.5	0.5	31.6	0.4	39.0	▲ 0.3
9月	38.1	1.1	39.6	0.8	39.4	0.9	33.5	1.9	40.0	1.0
10月	38.3	0.2	39.7	0.1	39.0	▲ 0.4	34.2	0.7	40.3	0.3
11月	38.3	0.0	39.2	▲ 0.5	38.7	▲ 0.3	34.9	0.7	40.3	0.0
12月	38.8	0.5	39.6	0.4	38.4	▲ 0.3	36.0	1.1	41.1	0.8
12年1月	39.9	1.1	40.8	1.2	39.5	1.1	37.3	1.3	41.9	0.8
2月	39.9	0.0	40.7	▲ 0.1	39.0	▲ 0.5	37.9	0.6	42.0	0.1
3月	40.3	0.4	41.1	0.4	39.4	0.4	38.6	0.7	42.1	0.1
4月	40.0	▲ 0.3	40.3	▲ 0.8	39.6	0.2	38.2	▲ 0.4	41.7	▲ 0.4
5月	40.7	0.7	41.3	1.0	40.1	0.5	39.3	1.1	42.2	0.5
6月	40.4	▲ 0.3	41.3	0.0	39.7	▲ 0.4	38.0	▲ 1.3	42.5	0.3

(出所)内閣府「消費動向調査」

(注) 季節調整値

○6月の消費者態度指数は小幅低下

6月の消費動向調査によると、消費者マインドを示す消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）は前月差▲0.3ptと悪化した。消費者マインドは震災以降回復が続いていたが、このところは一進一退の推移となっている。

個別に見ていくと、「雇用環境」は前月差▲1.3pt、「収入の増え方」は同▲0.4ptと低下した。雇用の回復が弱いものに留まっていることや、夏のボーナスの減少などを背景に、雇用・所得関連のマインドが悪化している。その他の意識指標については、エコカー補助金の効果などから「耐久消費財の買い時判断」が前月差+0.3ptと小幅プラスとなったほか、「暮らし向き」は前月から横ばいであった。

また、消費者態度指数の構成項目には含まれないが、「資産価値の増え方」は前月差▲1.3ptと3ヶ月連続の低下となった。欧州債務問題等を背景とする株安が、マインドに悪影響をもたらしている可能性が高いだろう。

○サービス等支出予定D Iは6項目中5項目が低下

消費動向調査では四半期に一度、旅行やサービスの支出予定についても調査を行っている。6月の調査結果をみると、まず7-9月期に国内旅行を予定する世帯割合は前期差+1.0%ptと増加する一方で、海外旅行はそれぞれ同▲0.1%ptと低下した。サービス支出予定D I（7-9月期）は、6項目中レストラン等外食費D Iなど5項目が低下した。

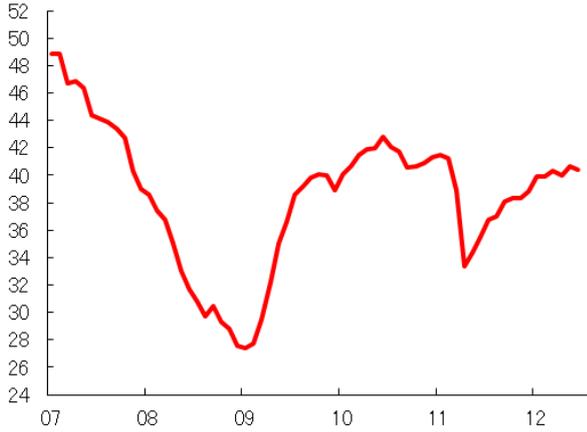
国内旅行予定は改善したものの、総じて見れば力強さに欠ける推移となっており、前回の4-6月期調査と比べて弱めの結果である。こういった部分からも、消費者マインドの回復ペースは徐々に鈍化しつつあることが示唆される。

○エコカー補助金の終了に伴う反動減などが懸念材料

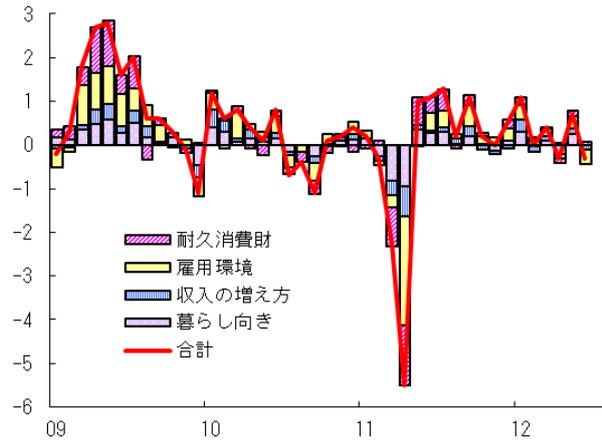
足元までの個人消費は、雇用の足踏みが続く中にありながらも、エコカー補助金による自動車販売の好調やマインドの持ち直しなどを背景に緩やかな持ち直しが続いている。

しかし、エコカー補助金に関しては7-8月には予算切れが見込まれている。補助金によって相当程度需要が先食いされているものとみられ、制度終了後の自動車販売については反動減が避けられないだろう。加えて、消費者マインドの回復ペースが徐々に鈍化しつつあること、雇用・所得の改善も弱いものに留まっていることを踏まえると、今後の個人消費の好調の持続性については慎重に見ておく必要があると思われる。

消費者態度指数の推移(季調値)



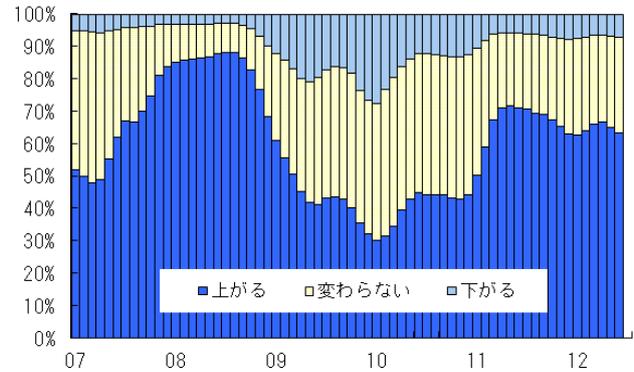
消費者態度指数 (前月差)



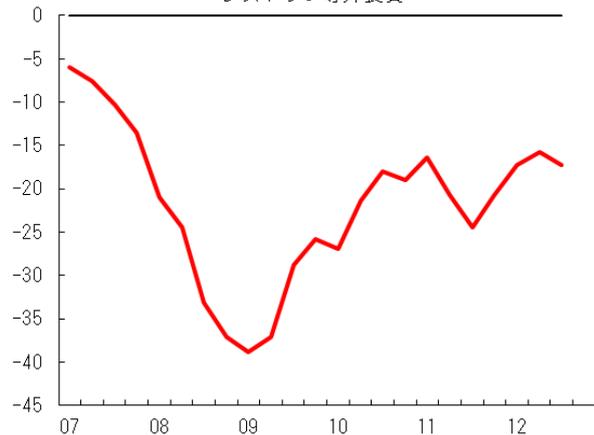
消費者意識指標の推移
(収入の増え方、季調値)



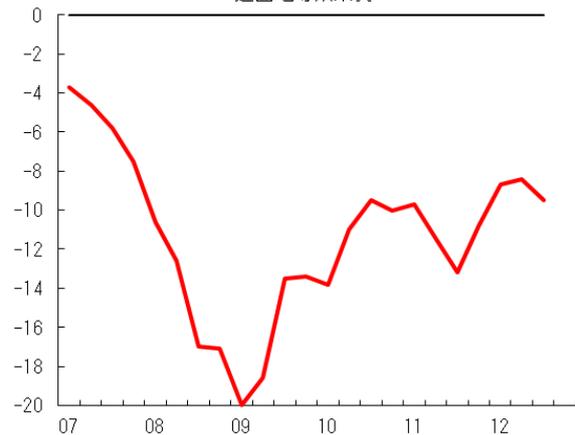
消費者が予想する1年後の物価見通し
(3ヵ月移動平均)



レストラン等外食費



遊園地等娯楽費



○グラフの出所はすべて、内閣府「消費動向調査」